

調整方法について

1. このアンテナは、2分配器がついている状態でVSWRが最良になるように調整しておりますので、分配器を取り外して片側だけ使用する時などはVSWRが高くなる可能性があります。2分配器がついた状態でご使用ください。
2. 出荷時のままご使用できるように調整しておりますが、周囲の影響等でfoを調整する場合は、各バンドのシヨート金具位置をずらすことで行ってください。あまり大きな移動幅ですと、逆にVSWRが大きくなり悪化しますので、数ミリ程度の移動範囲内で調整して下さい。

⚠️ ご使用時の注意点

- ご使用中に異常と思われる現象が発生した場合には、直ちにご使用を中止し、アンテナの状態をご確認ください。
- 規格以上のパワー入力、エレメントを取り外しての使用、エレメントを追加する等の改造は行わないでください。破損や十分な性能が出ない原因となります。
- 雷発生時はアンテナ及びケーブル等には触れないでください。感電の危険性があります。しばらく使用しない場合は、機器からケーブルをはずしてください。また、雷によってアンテナが破損する場合がありますので、雷があった後にはVSWRをチェックしてください。

こんな時は？

- VSWRが良くない
周囲に障害物(特に金属物)がありませんか？ できるだけ周囲に障害物がないように設置をお勧めします。
同軸ケーブル・分配器の配線方法で変化することがあります。ケーブルの配線位置を調整してみてください。
 - 故障したかもわからない
給電部の周囲に異常がないかご確認ください。シヨート金具を動かしてもどこにも同調点がない場合は、故障していると考えられます。その場合は、お買い求めいただいた販売店にご相談ください。
- その他、技術的な質問等ございましたら、弊社の技術にお問い合わせください。
Webのホームページからもお問い合わせが可能です。

コマット株式会社

住所 埼玉県さいたま市南区辻4-18-2
TEL 048-839-3131(代) FAX 048-839-3136
http://www.comet-ant.co.jp

性能向上のため、予告なく仕様及び外觀を変更することがありますのでご了承ください。

COMET ANTENNA

144MHz & 430MHz 共用 八木宇田アンテナ

MODEL **CYA-2375**

for VHF & UHF Band

取扱説明書

お買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために！

ご使用前の前に、この取扱説明書をよく読みの上で正しくお使いください。
この取扱説明書は、必要なときにご覧になれるように大切に保管しておいてください。

組み立てる前に！

☆梱包箱を開封しましたら、パーツリストにより各部品を確認してください。

【特長】

- 144MHz帯、430MHz帯の2種類の八木アンテナを、コンパクトに1つのフレームに配置しました。
- アルミ製エレメントを採用した軽量のアンテナです。
- 蝶ナットを採用し、分解が容易で省スペースにまとめることができます。
- クロスアウツの取り付け方向を変えることで、垂直・水平両方の設置に対応しています。
- 2分配器が付属しているので、両方のアンテナがすぐに使用できます。

【性能諸元】

- 周波数帯域 : 144~146MHz, 430~440MHz
- 素子数 : 144MHz帯 3素子, 430MHz帯 5素子
- アンテナ利得 : 144MHz帯 7.6dBi, 430MHz帯 9.5dBi (※)
- F/B比 : 144MHz帯 15dB以上, 430MHz帯 18dB以上
- 耐入力 : 最大 100 W (FM)
- インピーダンス : 50 Ω ● VSWR : 1.5 以下
- 全長 : 0.88 m ● 質量 : 約 1.0 kg (アンテナ本体)
- 耐風速 : 最大瞬間風速 30 m/s ● 受風面積 : 0.05(m²)
- コネクタ : M-J 型
- 2分配器 分配損失 : 144MHz帯 3.2dB
430MHz帯 3.8dB (※)

(※) 動作時の利得は、アンテナ利得から2分配器の分配損失を引いた値になります。

アンテナフレーム(φ22x875mm)	1本
導波器・反射器 各種エレメント	各1本 6種類
エレメント受け金具	8個
エレメント押さえ金具	6個
3素子八木給電部 (エレメント長36mm) シヨート金具 (長) 取付済	1組
5素子八木給電部 (エレメント長303mm) シヨート金具 (短) 取付済	1組
ナベねじ M4x50	8本
蝶ナット M4	8個
ケーブル2分配器	1台
クロスアウツ(角U字ボルト蝶ナット付)	1式
自己融着テープ	3組

(一部組立済の部品があります)

⚠️ 作業・設置上の注意

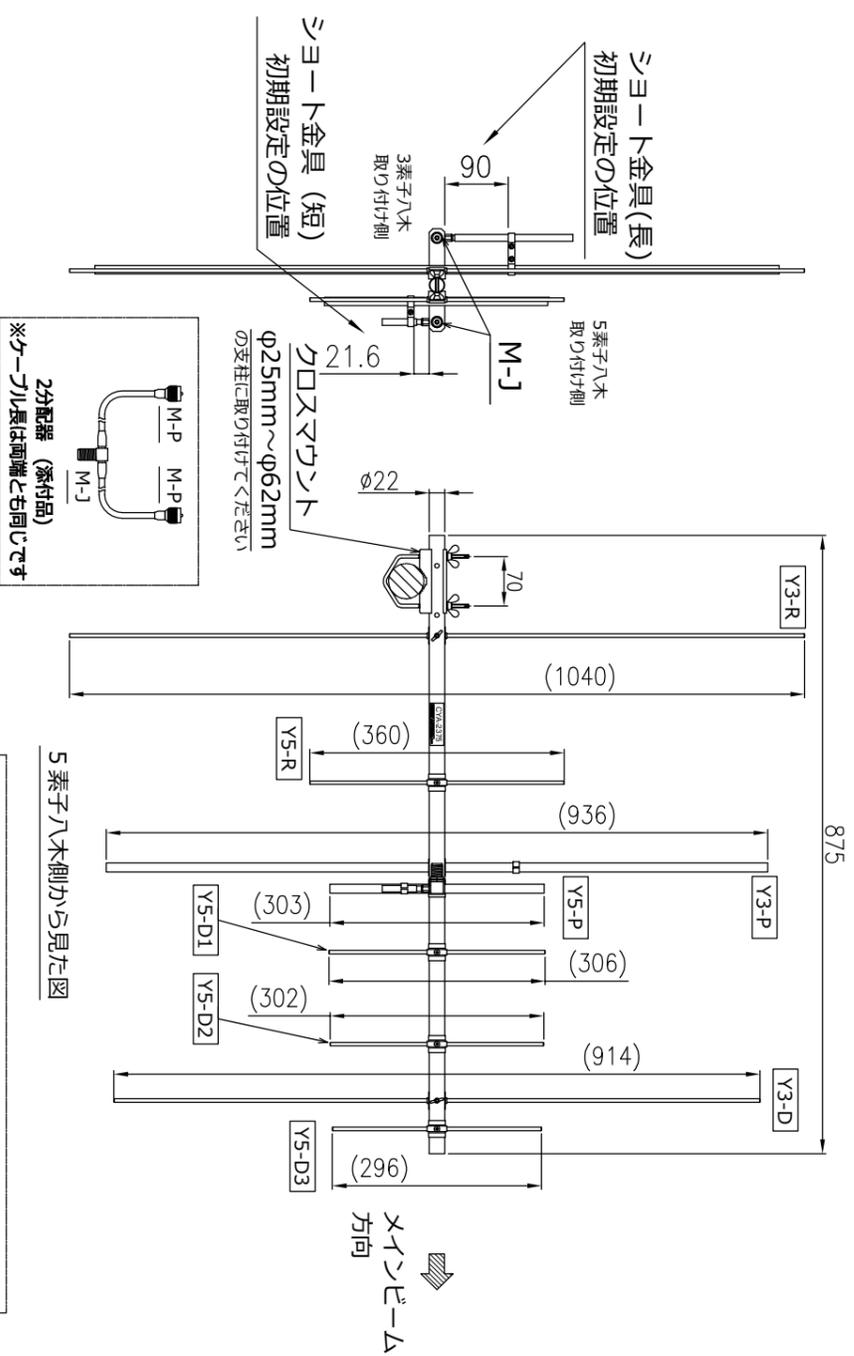
- 接続ケーブルのコネクタが、アンテナのコネクタと適合することを確認してください。違う種類ですと接続できなかったり、または破損する場合があります。
- 取付ネジ・金具類は、しっかりと締め付けて固定してください。固定が悪い場合は振動や強風等で緩み、落下事故などの原因になることがあります。また、設置時の部品落下やケガに注意してください。
- このアンテナの周囲に他のアンテナや金属等の導電体がありますと、影響でVSWR悪化・共振周波数ずれる原因になることがあります。そうした場合には、取付位置等の変更をお願いします。
- ペラシタ等、容易に手が届く場所に設置の場合は、お子様などが送信中のアンテナに触れることがないように、十分に注意をしてください。

KA100CTV3

Copyright (C) 2010 COMET CO.,LTD. All Rights Reserved.

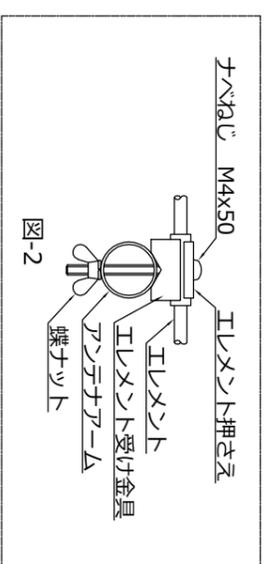
【外観図】

実際の製品には、端部に保護用のキャップがエレメントとアームについています。取り外さずそのままでご使用ください。



クロスアサント側から見た図

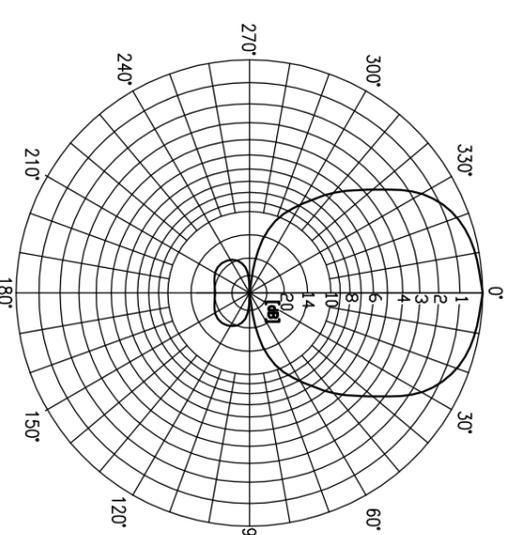
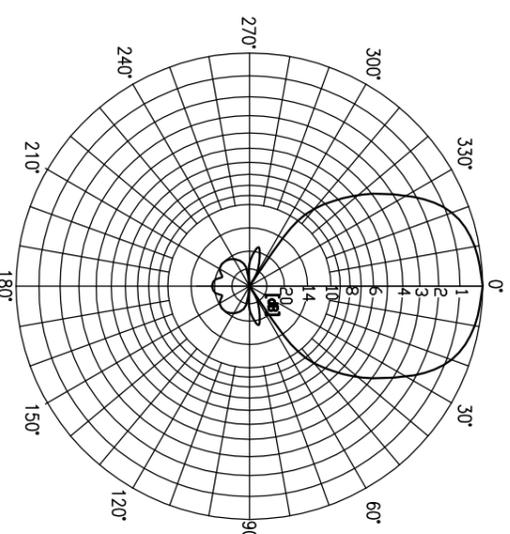
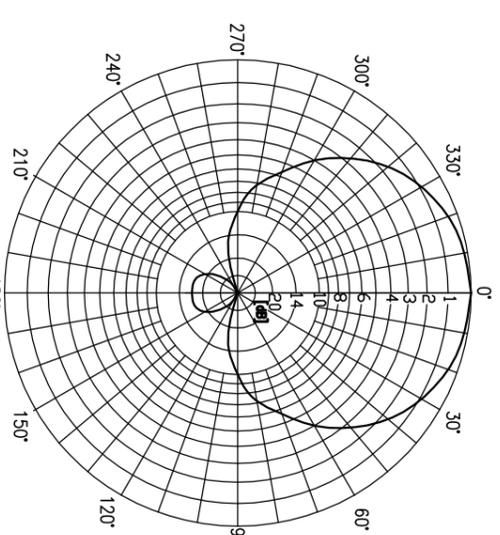
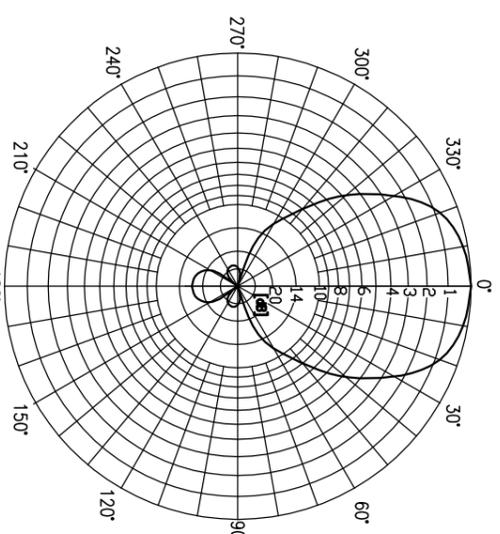
5素子八木側から見た図



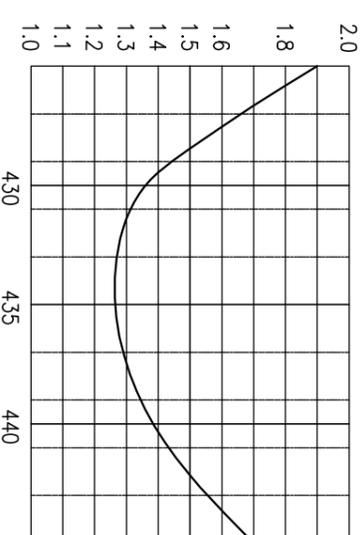
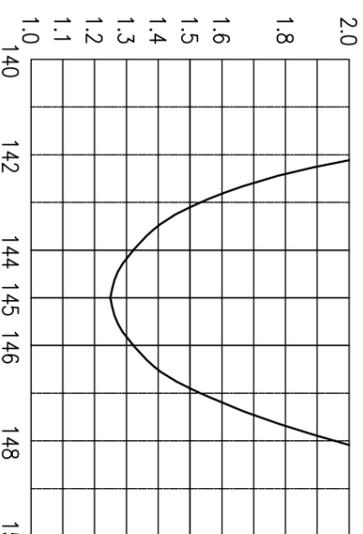
組立手順

1. アンテナアームに図-2のようにエレメントを取り付けます。メインビーム方向に行くに従ってエレメントが短くなるようにします。
2. 各給電部をアームに取り付けます。位置に注意してください。
3. エレメントが同一線上に揃うように、位置を微調整してください。
4. ねじ、ナット類のゆるみがないか確認してください。
5. 各給電部のコネクタに分配器のコネクタを締め取り付け、ビニールテープ、ナイロンタイ等で分配器のケーブルをアンテナアームに固定してください。ただし、ケーブルのアームへの密着度によって、VSWRが変化する可能性がありますので、SWR計等で影響を確認しながら固定することをお勧めします。2分配器のケーブルはどちらも同じ長さなので、どちらのコネクタにつけても構いません。
6. コネクタ接続部で、付属の自己融着テープを2倍の長さに伸ばしながら半分の幅が重なるように巻き、その上から保護用のビニールテープを巻いて防水処理をしてください。
7. クロスアサントでアンテナを支柱に固定します。
8. 分配器に無線機からのケーブルを接続し、組立手順6と同じ方法でテープで防水処理を行ってください。ケーブルは素子への干渉と、コネクタ部への負荷がないように固定してください。

指向性参考例およびVSWR特性例



VSWR特性 (2分配器 接続時)



(※) 実際の特性は設置方法、周囲の環境によって変動する可能性があります。